



- この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。

■施工される方へのお願い

- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

- ▲ 注 意** …施工を誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

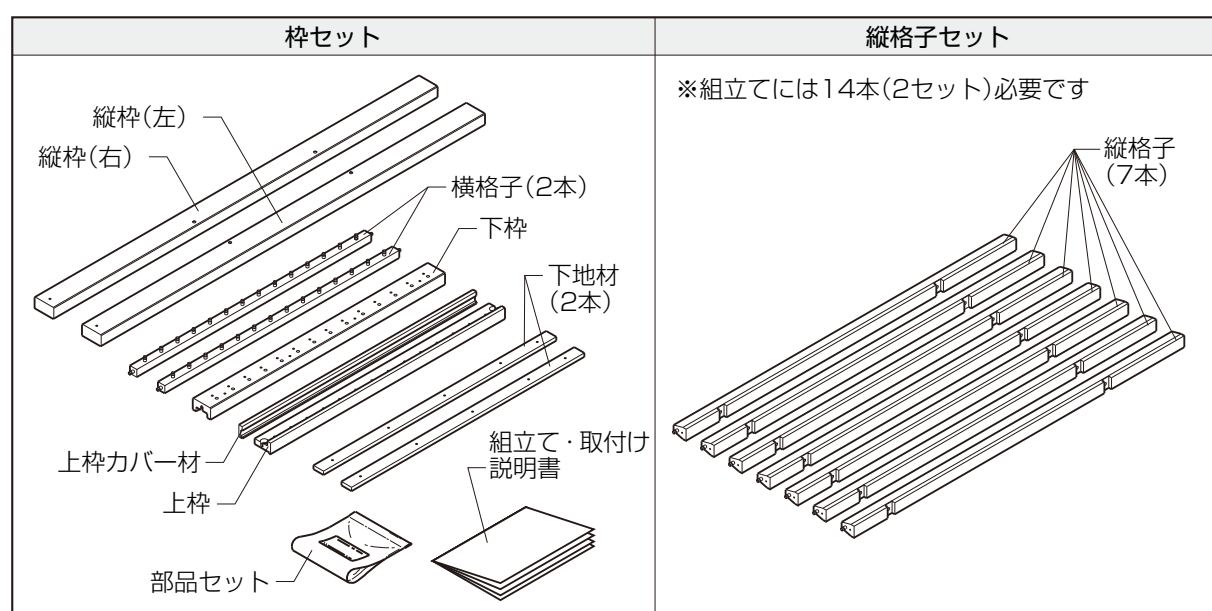
⚠ 注意

- 製品が外れたり、転倒してケガをするおそれがあります。下記事項をお守りください。
 - ・天井と床に必ず補強材(天井は45mm角以上)を取付けてください。
 - ・必ず床と天井の2面以上で固定してください。
 - ・部材の組立て・取付けの際は、必ず木工用接着剤(現場手配)を併用してください。
- 不燃性ではありませんので、ガス台など火気のそばに取付けないでください。引火のおそれがあります。
- 床暖房部分には設置できません。床暖房パネルや配管をキズ付けるおそれがあります。
- 指定個所以外の場所を切断・加工しないでください。製品の破損・脱落の原因となります。
- ジョイント部品(本体)と、ジョイント部品(ボルト)を必ず固定してください。部材が脱落する原因となります。
- ねじは指定のねじを指定の本数使用して、組立て・取付けをしてください。部材の脱落やゆがみなどの原因となります。
- 本体に寄りかからないでください。部材の外れ・折れなどからケガをするおそれがあります。
- 本製品は、組立て後の製品重量が約40kgになります。取付けは対応する人数で行ってください。

■施工上のお願い

- 補強材には、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用してください。湿潤材は使用しないでください。
- 取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 多湿の個所への設置、コンクリートやモルタルへの設置はしないでください。基材のソリ・ねじれ・腐食の原因となります。
- 直張り工法床には設置できません。
- 立掛けた状態での保管・運搬はしないでください。ソリ・ねじれの原因となります。
- 運搬・加工の際には、キズ付けないように取扱ってください。又、水・直射日光の当たる場所に開梱状態で置かないでください。ソリ・ねじれの原因になります。
- 納入時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず施工前にお買い求め店までご連絡ください。(施工後の不具合・キズなどによる交換はできません。)
- 必ず下穴をあけてからねじを締め付けてください。下穴をあけずにねじを締め付けると、部材に割れが発生します。
- 現場で使う木工用接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。
- ねじ締め付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締め付けトルクが強すぎるとねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本体にガムテープ・クラフトテープなどの粘着力の強いものを張らないでください。表面材がはがれる原因となります。
- 濡れているものを格子に掛けしないでください。製品のフクレやソリの原因となります。
- 本体はベンジンなどの溶剤で拭かないでください。表面材を傷める原因となります。
- 下地材は化粧をしておりません。天井チリ部分で下地材の側面が見える仕様ですので、気になる場合は小口面の着色処理などをしてください。
- 長時間、直射日光が当たる場所や、冷暖房器具の風が直接当たる場所には設置しないでください。製品にソリが発生します。

■部品・部材の明細



■部品セット一覧

名称	姿図	入数
ジョイント部品(ボルト)		4
縦格子固定用ねじ DNφ3.8×60		28
天井下地材固定用ねじ DNφ3.8×60		5
床下地材固定用ねじ 木ねじφ3.8×25		5
本体固定用ねじ(予備4本含む) 頭部塗装皿タッピンねじφ4×50		12

■取付け前の準備

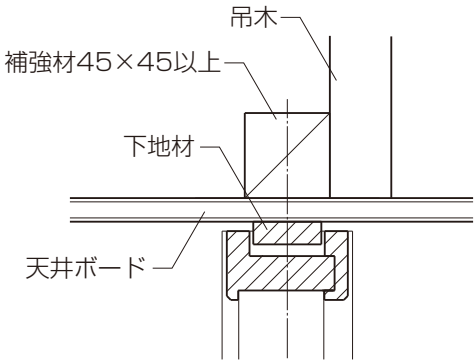
1補強材の取付け

●商品を取付ける位置の天井と床に、補強材を入れてください。

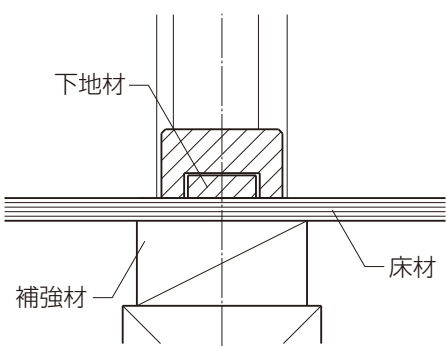
▲注 意

●製品の転倒防止のため、必ず天井と床に補強材（天井は45mm角以上）を取付けてください。

■天井(縦断面図)



■床(縦断面図)

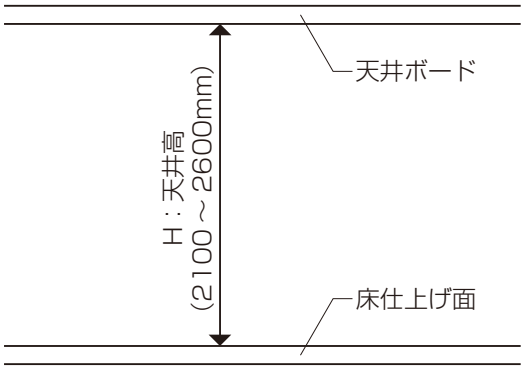


2取付け高さ(天井高)の測定

●商品を取付ける場所の、床から天井までの高さ(天井高)を測定してください。

※躯体の水平・垂直を正しく出してください。

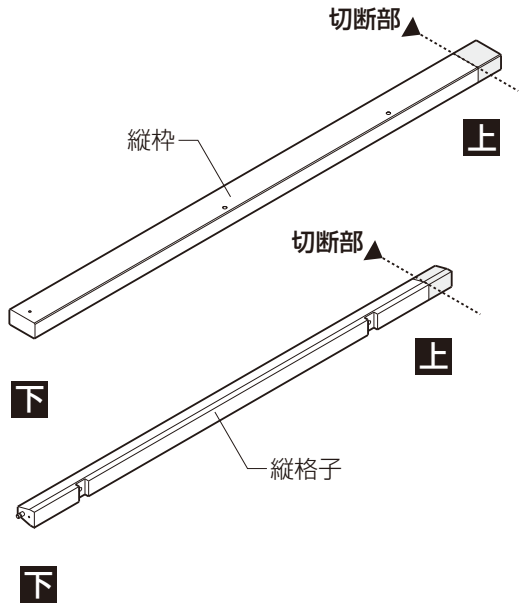
●対応天井高は2100～2600mmです。



■部材の準備(手順)

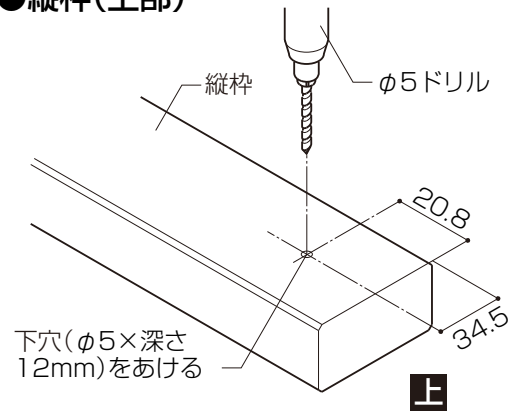
1縦枠・縦格子の切断・加工

①部材を切断します。

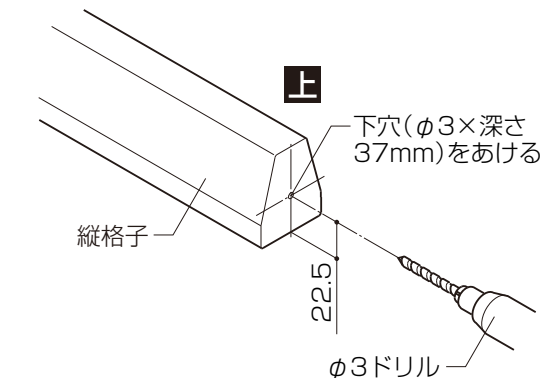


②部材に下穴加工をします。

●縦枠(上部)



●縦格子(上部)



■部材の準備(詳細)

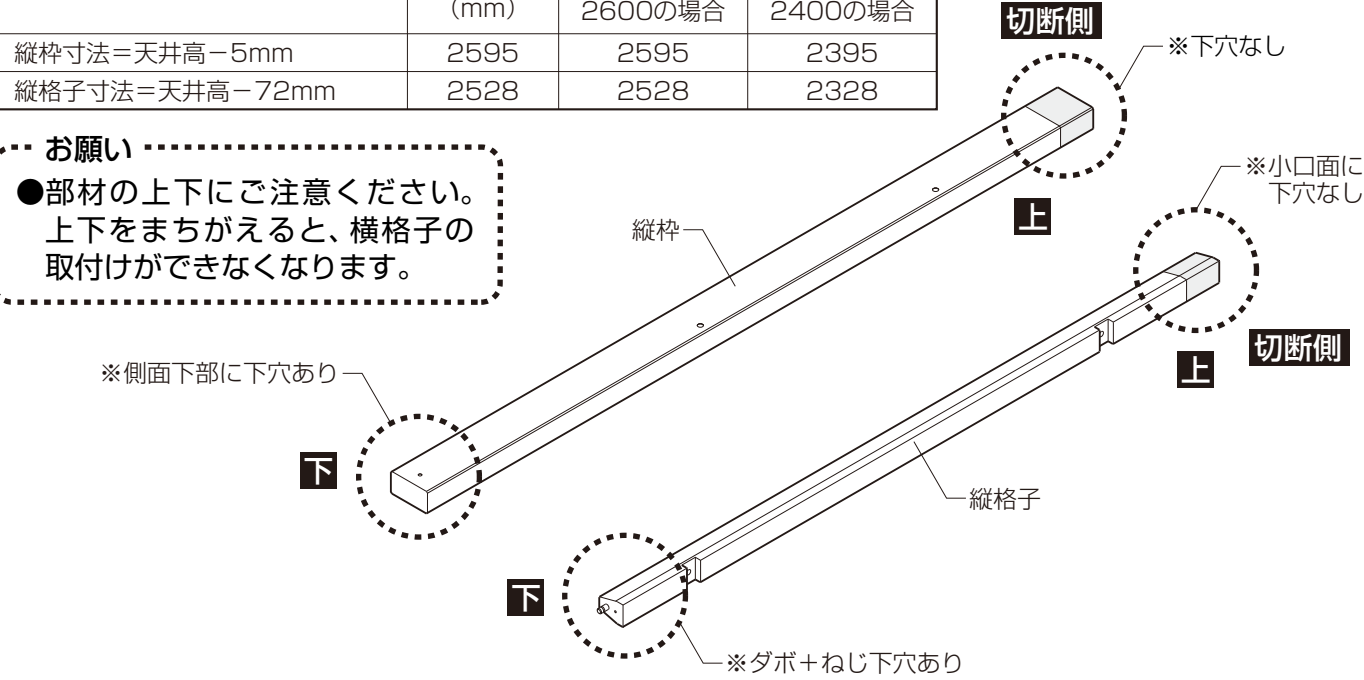
1縦枠・縦格子の切断・加工

①天井高に合わせて、縦部材の切断が必要です。測定した天井高に対し、各部材の上部を切断してください。(天井高2600の場合、切断は不要です。)

■切断寸法表

部材寸法算出式	部材寸法 (初期) (mm)	切断寸法例(mm)	
		天井高 2600の場合	天井高 2400の場合
縦枠寸法=天井高-5mm	2595	2595	2395
縦格子寸法=天井高-72mm	2528	2528	2328

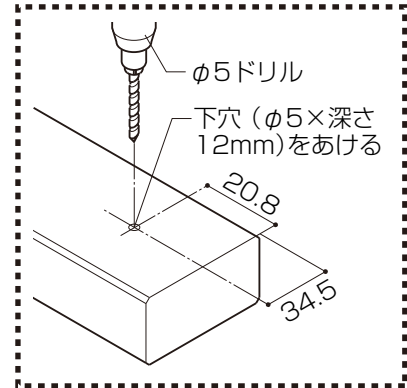
お願い
●部材の上下にご注意ください。
上下をまちがえると、横格子の
取付けができなくなります。



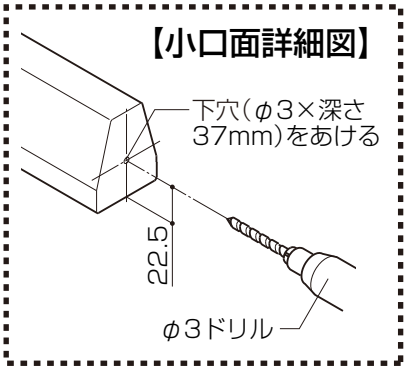
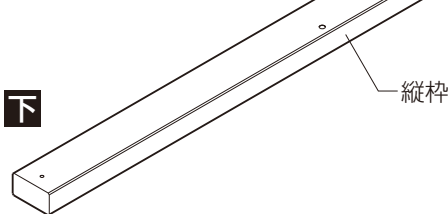
②切断した部材に下穴をあけます。本説明書の下穴加工用型紙を使用してください。

- ・縦枠下穴(φ5×深さ12mm)上部1ヵ所×左右各1本ずつ
- ・縦格子下穴(φ3×深さ37mm)上部1ヵ所×14本

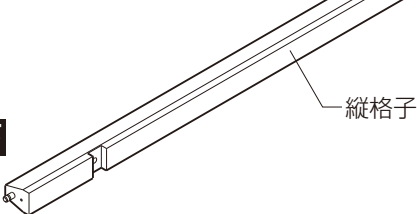
お願い
●必ず部材に指定された寸法の下穴をあけてください。下穴をあけずにね
じを締め付けると、部材に割れが発生します。



●縦枠



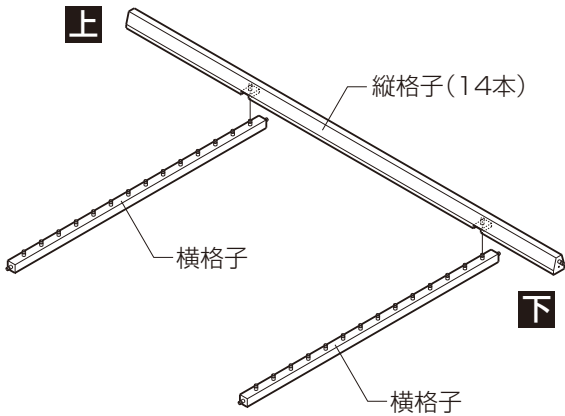
●縦格子



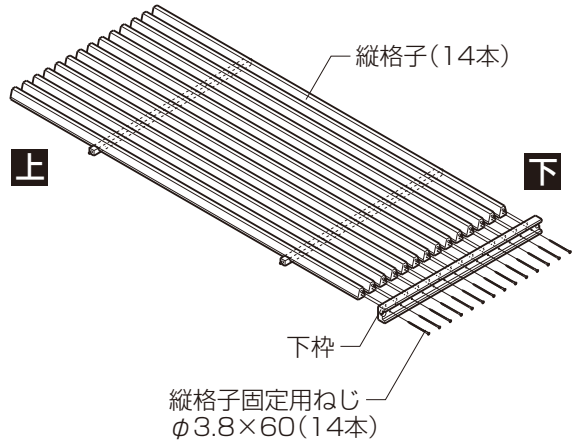
■組立て順序

1 格子の組立て

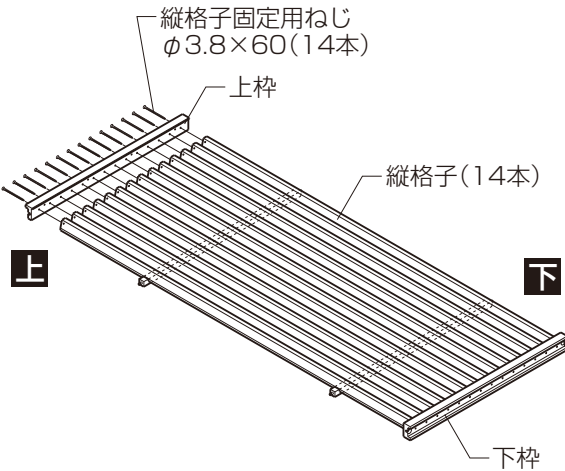
①横格子に縦格子をはめ込みます。



②③下枠に縦格子をはめ込みます。



④上枠に縦格子をはめ込みます。



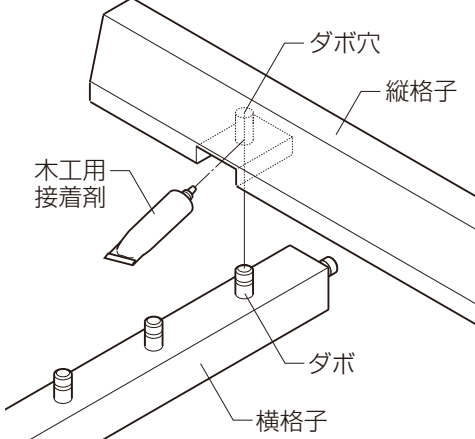
■組立て詳細

1 格子の組立て

①木工用接着剤(現場手配)を縦格子のダボ穴に充てんし、切欠き面に塗布します。次に横格子に縦格子をはめ込みます。

■A部詳細図

※接着剤をダボ穴に充てんし、切欠き面にも塗布してください。



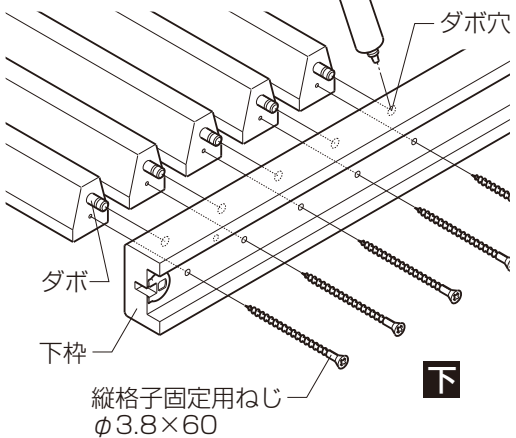
②木工用接着剤(現場手配)を下枠のダボ穴に充てんし、縦格子の小口面に塗布して、下枠に縦格子をはめ込みます。
③下枠を下面よりねじ(φ3.8×60)で、縦格子に固定します。

お願い

- ねじは必ず下穴に固定してください。下穴からズレると割れるおそれがあります。

■B部詳細図

※接着剤をダボ穴に充てんし、縦格子小口面にも塗布してください。

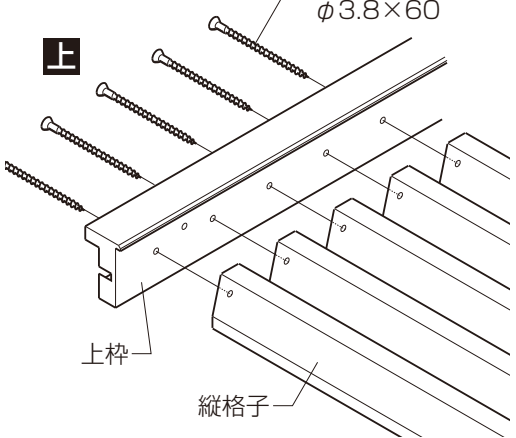


④上枠を上面よりねじ(φ3.8×60)で、縦格子に固定します。
※はじめに全ての縦格子の下穴に、ねじ先端部を確実に入れた後、本締めしてください。

お願い

- ねじは必ず下穴に固定してください。下穴からズレると割れるおそれがあります。
- 上枠の裏表を正しく固定してください。

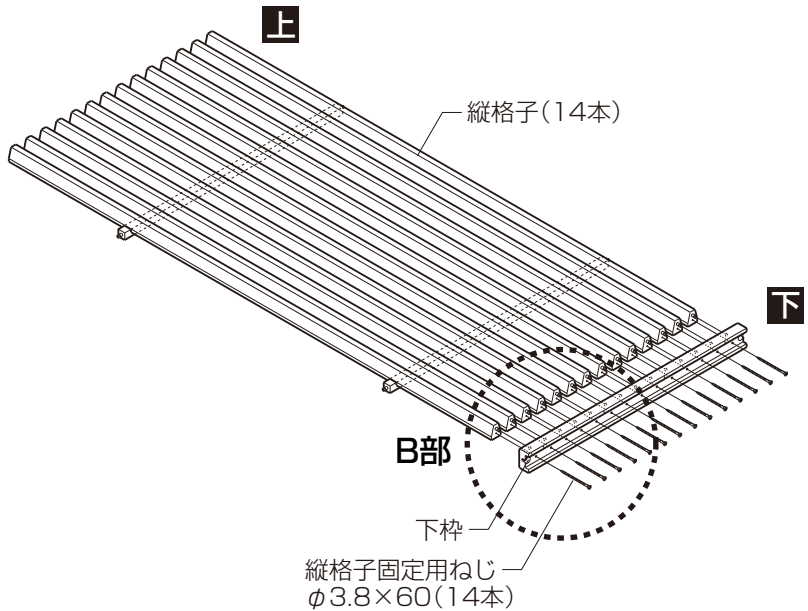
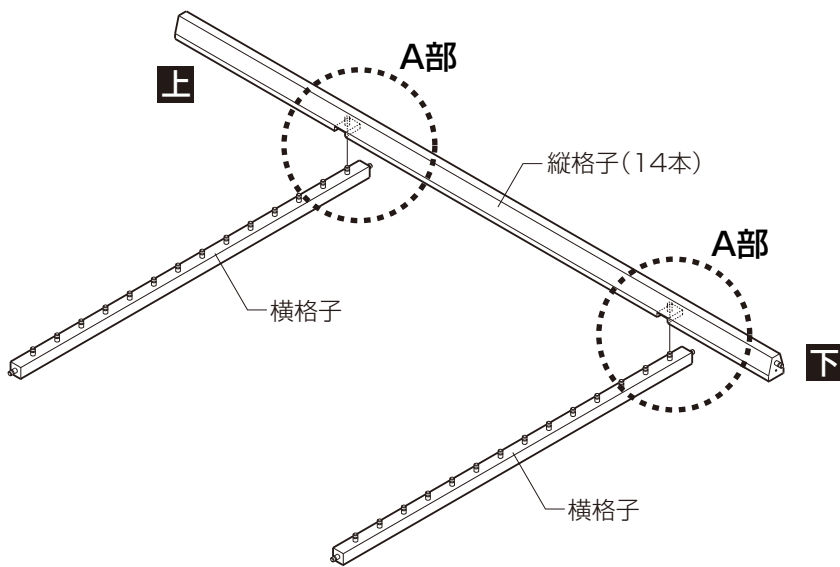
■C部詳細図



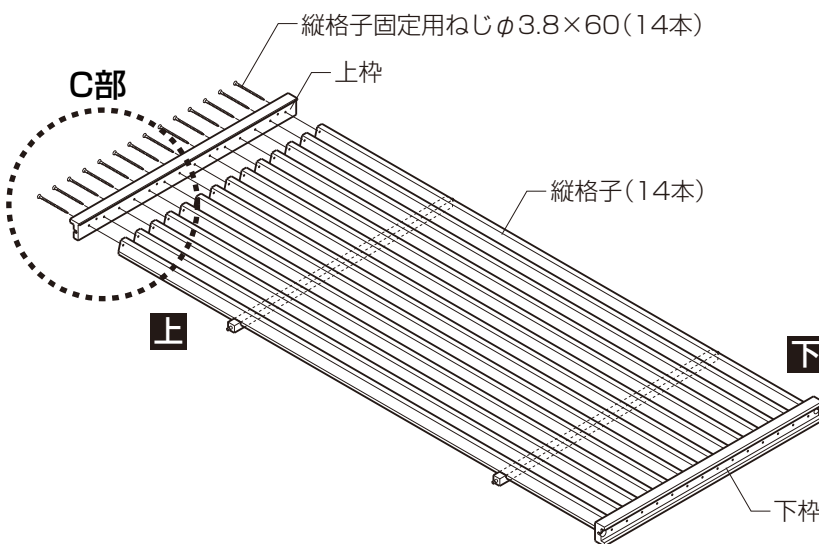
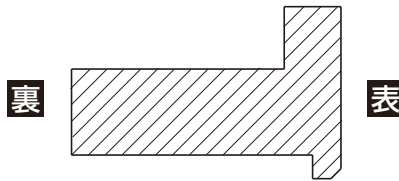
▲注意

- 接合部には必ず木工用接着剤(現場手配)を併用してください。部材が外れるおそれがあります。

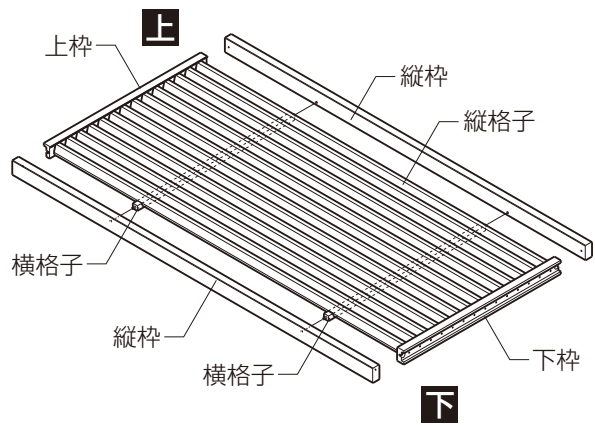
- 縦格子の上下を正しく取付けてください。縦格子は小口面にダボが付いている方が下側となります。



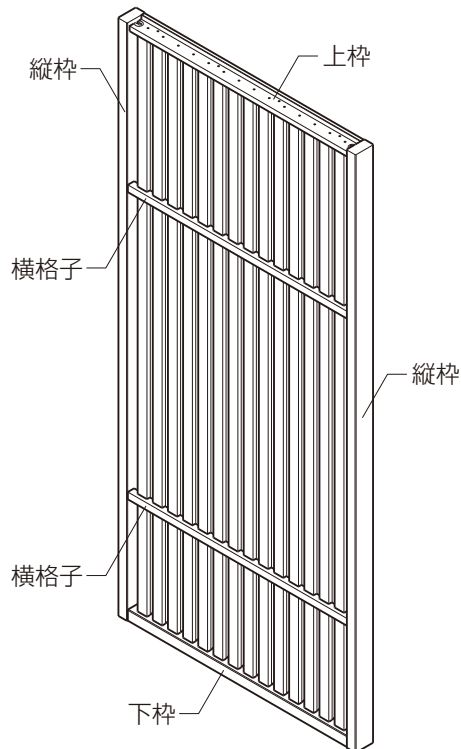
■上枠表裏の確認



⑤⑥⑦縦枠を取付けます。



■格子組上がり図



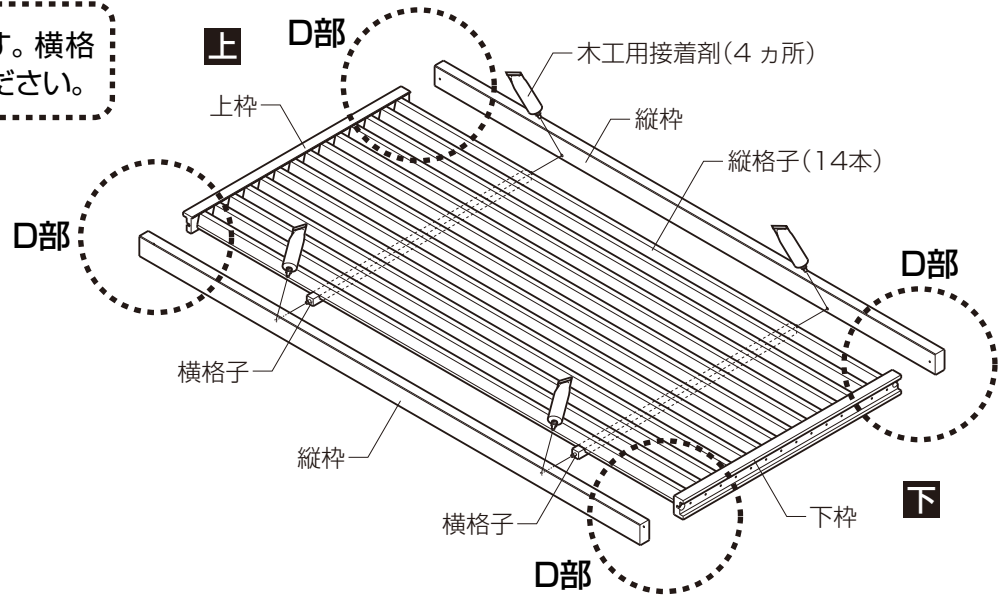
⑤ジョイント部品(ボルト)を縦枠に取付けます。

⑥縦枠の横格子用下穴(2 ヲ所／本)に、木工用接着剤(現場手配)を充てんします。

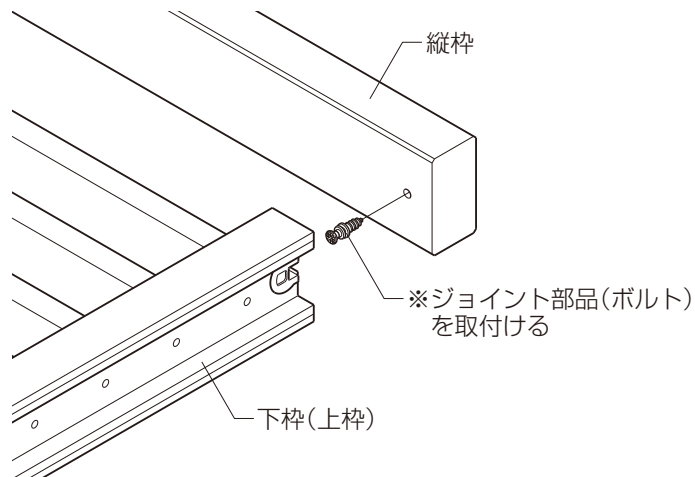
⑦縦枠を取付け、ジョイント部品本体のねじを回して固定します。

お願い

●縦枠には左右勝手があります。横格子とダボの位置を確認してください。



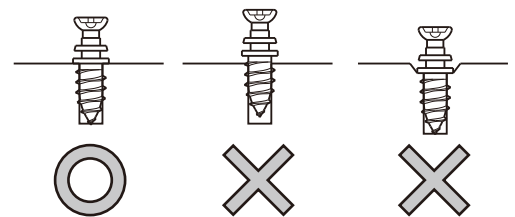
■D部詳細図



お願い

■ジョイント部品(ボルト)の取付け方法

※必ず手回しドライバー又はクラッチ付ドライバーで取付けてください。
※適切な位置に取付けてください。組立てができなくなります。

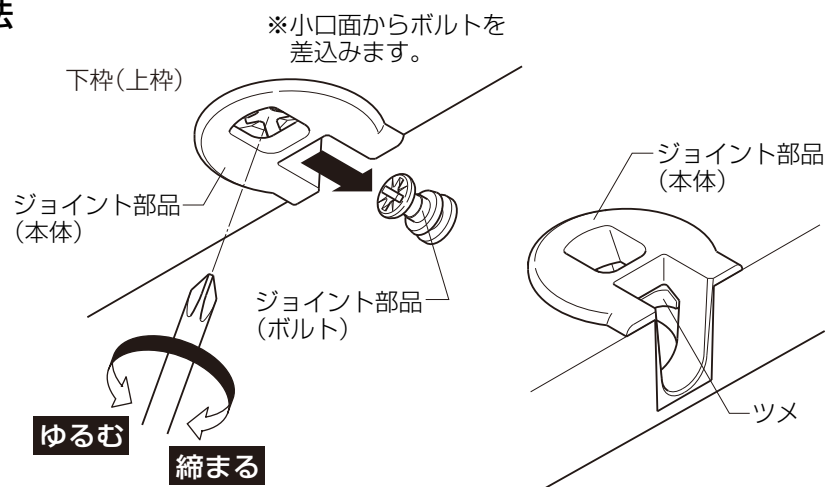


お願い

■ジョイント部品の取付け方法

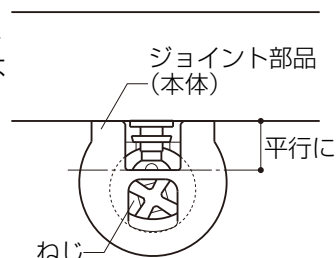
※よく締まらない場合は、回転部のツメを直して締め付けるか、ジョイント部品本体にボルトがはめ合わされているか確認してください。(回転部のツメが出ているとボルトが入りません。)

※ドライバーは、斜めに差込んでください。ジョイント部品が破損するおそれがあります。



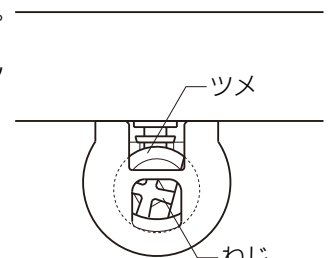
【はめ合わせ時】

※ねじの平らな面を、縦枠と平行にしてはめ合わせます。



【締めた時】

※ねじを90°～105°回転させて固定してください。



▲注意

●ジョイント部品(本体)と、ジョイント部品(ボルト)を必ず固定してください。部材が脱落する原因になります。

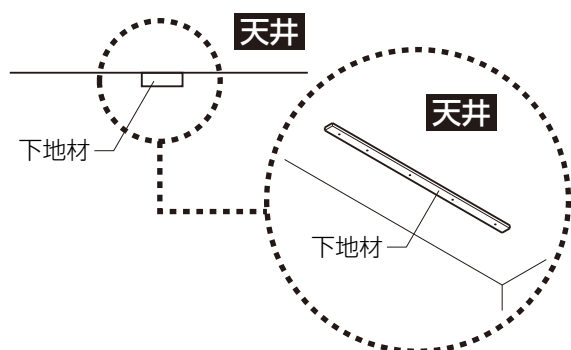
お願い

●縦格子と横格子の間にすき間が生じる場合は、接着剤が硬化するまでジョイント部分を梱包用ひもなどで固定してください。

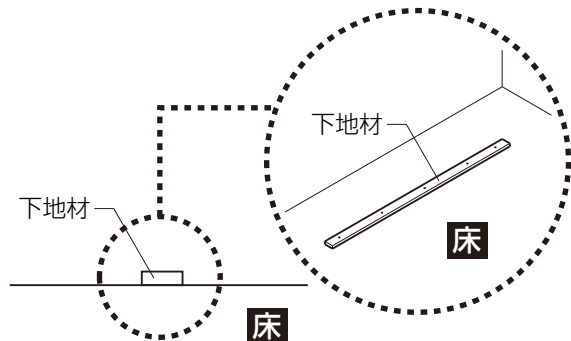
■取付け順序

1 下地材の取付け

①天井に下地材を取付けます。

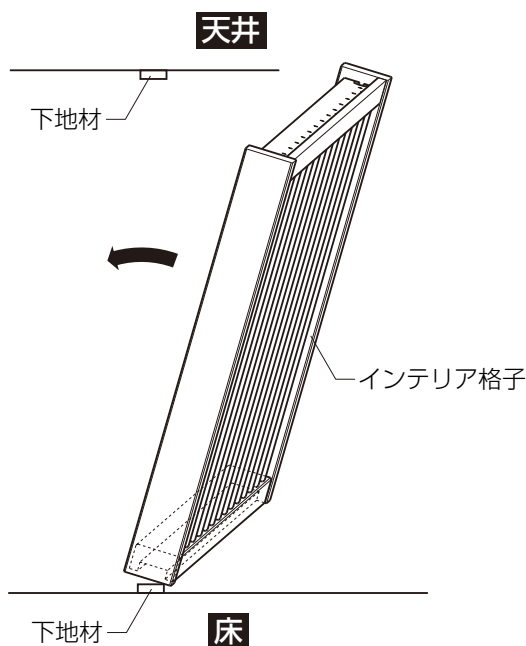


②床に下地材を取付けます。

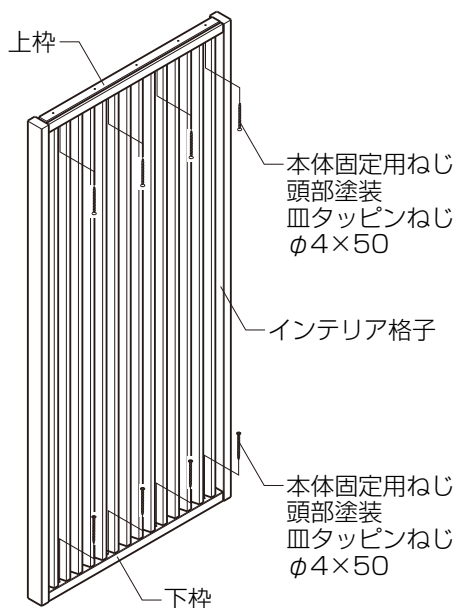


2 インテリア格子の取付け

①格子を立上げ、設置します。



②③躯体にねじ固定します。(天井・床・壁)



■取付け詳細

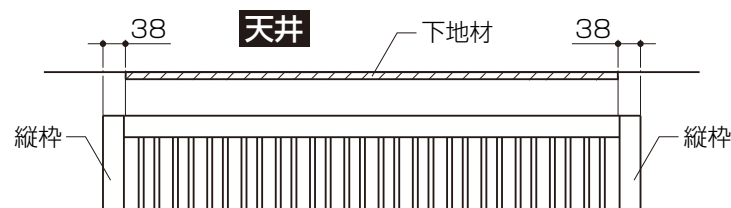
1 下地材の取付け

①インテリア格子を設置する部分の天井に、下地材を同梱のねじ(DNφ3.8×60)で固定します。

■下地材と格子の位置関係

【左右のチリ】

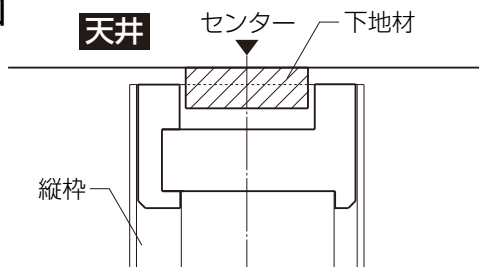
●下地材は、格子の縦枠側面より38mm内側に入ります。



【奥行き方向】

●下地材と縦枠の奥行きは、センター合わせになります。

■断面図



②同様に床にも、下地材を同梱のねじ(木ねじφ3.8×25)で固定します。

お願い

●上下の下地材は、垂直・平行を確認して取付けてください。ソリ・ねじれの原因となります。

2 インテリア格子の取付け

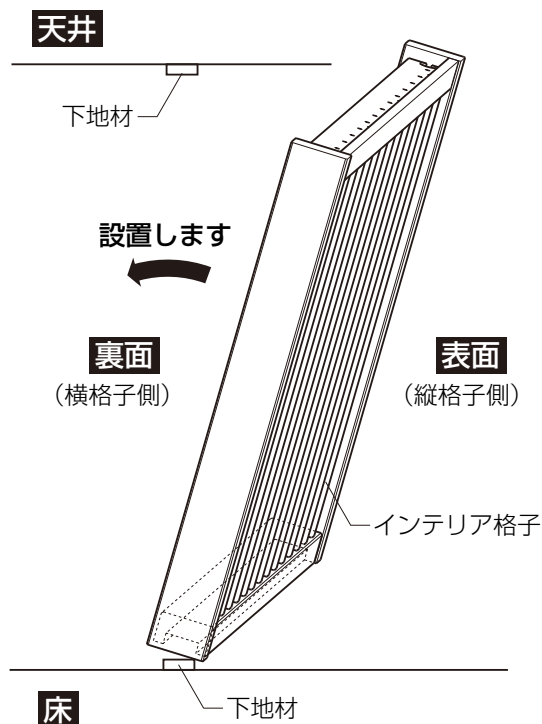
①インテリア格子を、裏面より立上げます。下枠材が床側の下地材に覆いかぶさるように設置し、起こします。

▲注 意

●本製品は、組立て後の製品重量が約40kgになります。取付けは、対応する人数で行ってください。

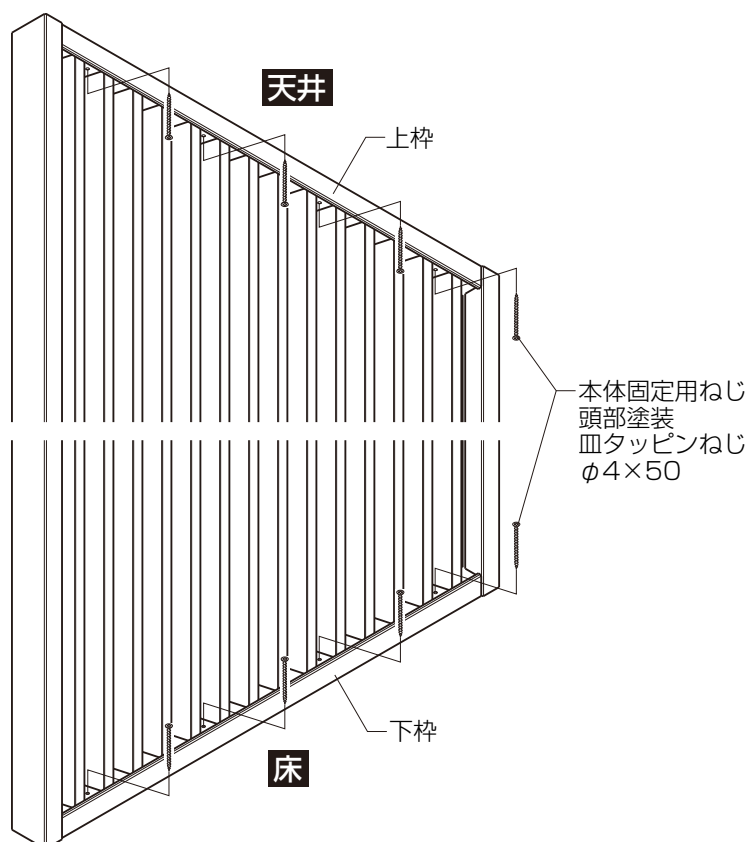
お願い

●インテリア格子は、裏面(横格子側)より起こして設置してください。表面から起こすと、天井に上枠が当たり、天井をキズ付けます。
●床をキズ付けないように、下枠部には養生材を敷いてください。

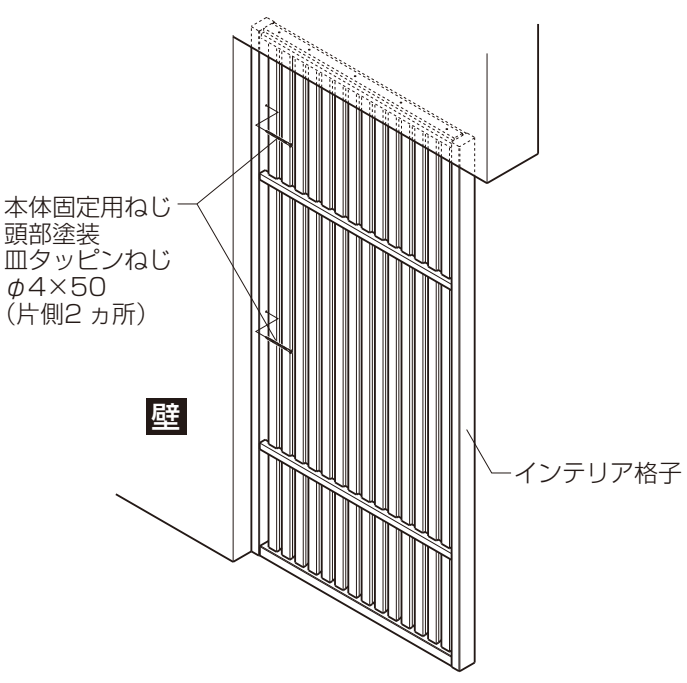


②上枠・下枠を同梱のねじ(頭部塗装皿タッピンねじφ4×50)で、それぞれ4カ所を下地材へ固定します。

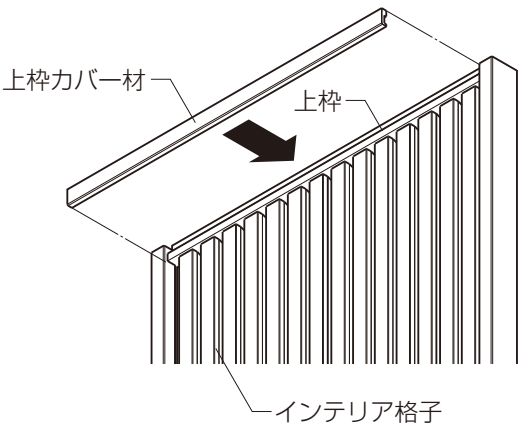
●固定にはビットの長いドライバー(150mm以上)をご使用ください。



③壁に固定する場合は、縦枠をねじ(頭部塗装皿
タッピンねじφ4×50)で躯体に固定しま
す。
※上枠と横格子の中間(1本)と、横格子同士
の中間(1本)片側につき、2カ所を固定して
ください。

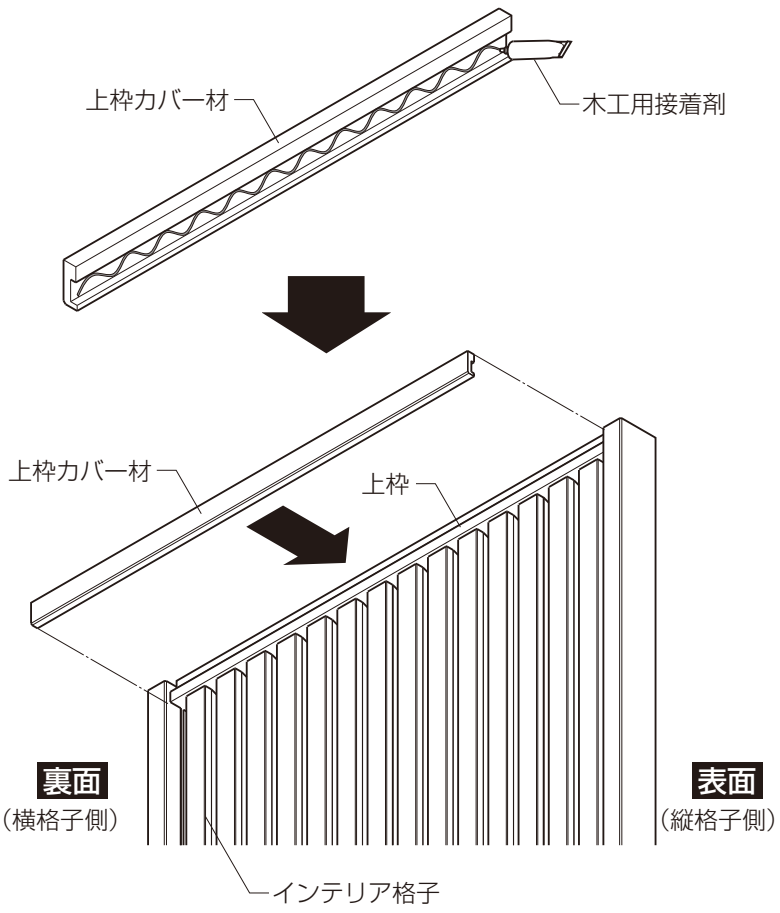
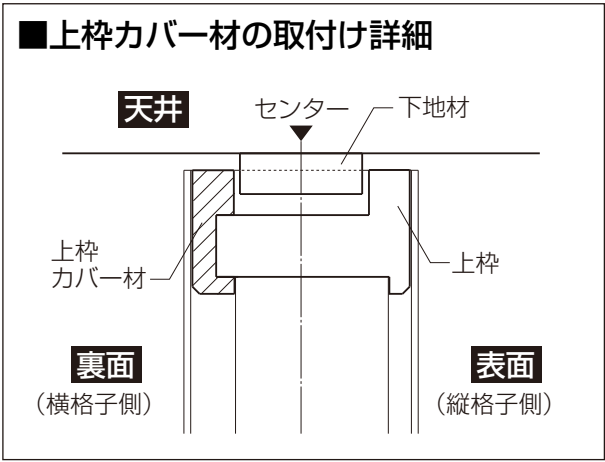


④上枠カバー材を取付けます。



④上枠カバー材の裏面に木工用接着材(現場手
配)を塗布し、上枠にはめ込みます。
専用カクシ釘(現場手配)で固定した後、釘頭
をとばし、必要に応じてパッチャルペンシル
で釘頭処理をしてください。

お願い
●カバー材の上下をまちがえないでくださ
い。カバー材の小口、下地材が見えます。



■参考納まり図

■横断面図

35 839 35 A部

260

■縦断面図

The diagram shows a vertical shaft assembly with four main sections labeled B部, C部, D部, and E部. The shaft has a diameter of 36. The total length of the shaft is 1361. The distance from the top of the shaft to the center of the first bearing (B部) is 5. The distance from the center of the first bearing to the center of the second bearing (C部) is 124 ~ 624. The distance from the center of the second bearing to the center of the third bearing (D部) is 25. The distance from the center of the third bearing to the bottom of the shaft is 488. The distance from the bottom of the shaft to the center of the fourth bearing (E部) is 36. The shaft is supported by bearings at B部, C部, D部, and E部. The shaft is shown in a vertical cross-section view.

Dimensions (mm):

- Top section: 5
- Section B部: 36
- Section C部: 124 ~ 624
- Section D部: 25
- Section E部: 488
- Bottom section: 36
- Total length: 1361

Technical drawing of the A-section of a corrugated metal profile. The drawing shows a cross-section with a total width of 910 mm (W: 910). The profile consists of three trapezoidal ribs and one rectangular rib. The pitch between the centers of the ribs is 58 mm (ピッチ: 58×13). The height of the profile is 69 mm. The top width of the first rib is 36 mm. The height of the first rib is 45 mm. The width of the first rib at the base is (17) mm. The width of the rectangular rib is 35 mm. The distance between the center of the third rib and the center of the rectangular rib is (43) mm.

吊木

補強材45×45以上

下地材

(天井チリ寸法5)

12

36

36

6.3

2.5

45

12.7

2.5

H

井筒高さ

(6)

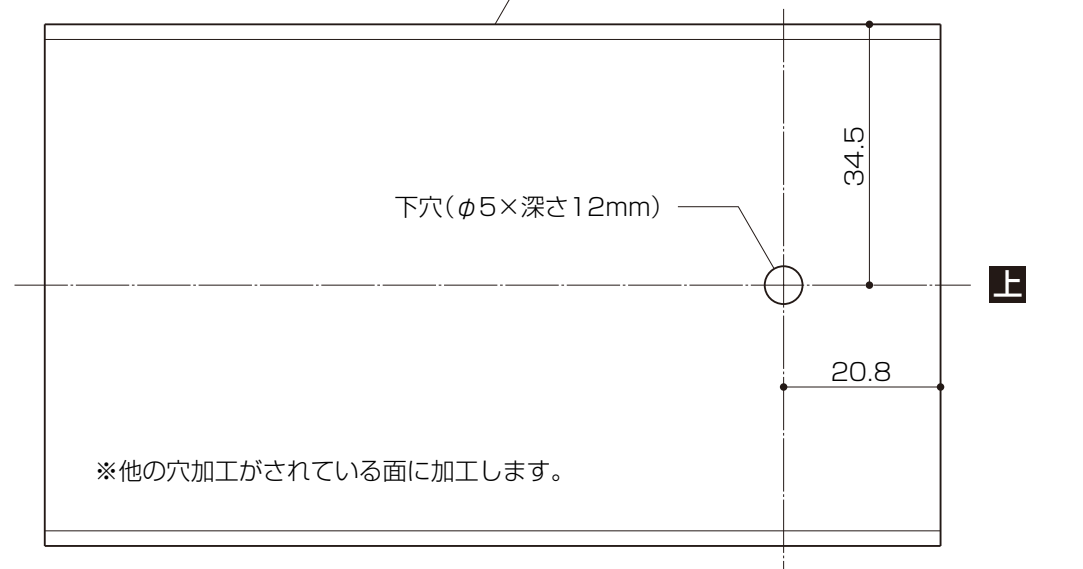
■C部詳細図

■下穴加工用型紙(インテリア格子専用)

【縦枠用型紙】(縮尺1 / 1)

※左右各1本ずつ加工します。

※切取ってお使いください。



【縦格子上部用型紙】(縮尺1 / 1)

※縦格子14本に加工します。

※切取ってお使いください。

